

使しながら、弊社メンテナンスに精通した社員及び設計社員の協力で丁寧な試運転指導を実施することができた。

石炭焚きに替わるLPG焚き高効率ボイラーを2020年に納入後、順調にボイラーは稼働している。ボイラー納入以降の運転不具合については弊社より適宜現地調査

## フレームアイ

### 『仕事と暮らしに役立つタイミングマネジメント®』(第5回)「叱るタイミング」を意識して成長を支援する

ここ数年「叱り方がよくわからない」「パワハラにならないか不安で叱れない…」というような声を耳にすることがあります。そんなときは「相手の成長を真剣に考えているのなら自信を持って叱ってください!」とアドバイスをしています。

「叱る」ということは、前号でお伝えした「ほめる」とこと同様に「相手の成長を願う心」をかたちに表すことで、相手が望ましい行動ができるように促進する前向きな働きかけです。

「叱る」と「怒る」は意味が違います。「怒る」というのは感情的になって怒鳴る、一度にいろんなダメ出しをする、人格を否定するような言い方をするというようなネガティブな行為で相手を必要以上に追い込んでしまいます。相手は委縮して仕事や勉強に対する意欲さえなくなねません。

#### 「叱るタイミング」で自ら行動をふり返る機会をつくる

「叱る」ということは未来思考です。叱られた相手が「何が悪かったのか」「うまくいかなかった要因は何か」を自らふり返り、「次からどうすべきか」を考えることができる状態をつくっていくことであり、そのためには「叱るタイミング」が重要となります。効果的なタイミングで叱ることで相手の成長が促進されるのです。

皆さんは部下や後輩、お子さんを叱る際に教育的効果が高いタイミングを意識していますか? 「叱る」効果的なタイミングは、相手がミスをしたり、問題を起こした直後です。「鉄は熱いうちに打て」という言葉がありますが、直前にした自分の行動についてすぐにふり返りができるので、「何が悪かったのか、どうすればいいのか」を考えて実践できるようになります。時間が経ってからでは「何のことを、なぜ叱られているのか」相手がピンとこないで、叱る効果が薄れてしまいます。

ただ、失敗した直後で相手が混乱しているときやひどく疲れていて気力や体力が低下していて余裕がないときは、冷静に話を聴けない可能性が高いので効果的ではあ

を行い、不具合原因を究明し、適宜対策案を提案しながらアフターフォローを行っている。

今後も、モンゴル国の大気汚染防止を図りながら地球温暖化防止の一環としてCO<sub>2</sub>削減のために弊社高効率ボイラーをモンゴル国へ普及できれば幸いである。

(株日本サーモエナー 平山 浩)

りません。失敗した要因を冷静に分析できるタイミングを選んでください。子どもが声を出して泣いているときに叱っても親の言葉を聴くことができません。相手の気持ち落ち着いたタイミングを見計らうことが大切なのです。

#### 叱られている意味を理解できるタイミングを選ぶ

学校に行く前、外出する前や仕事を始める直前は避けたほうが良いタイミングです。叱られたことで気持ちが不安定になったり、落ち込んでしまう可能性があるのもその後の行動や結果にも影響が出てしまうことがあるからです。叱る場合は場当たりにその時の感情に左右されるような叱り方にならないように気をつけて、相手にとってのタイミングを考えることが大切です。

相手の状況をよく観察して、相手が冷静に受け止められる、叱られている事柄や意味を理解できて納得感が高いタイミングで叱ることで、自ら考え、主体的に改善しようという意欲が向上し、生産性・成果の向上につながっていきます。

叱る際の注意点は、①うまくいかなかった・失敗した要因は何かという「事柄」に焦点を当てる②感情的にならない③相手の話を聴かずに結果だけに目を向けない。理由や結果にいたるプロセスを聴いてどこがよくなかったかを本人に気づかせる(「言い訳するな」と言わず、「相手の言い分」を聴く)④なぜ?なぜ?と詰めない⑤人格を否定するようなことは言わない(例:そんなこともわからないの/何度も言ってるよね/こういう性格だからダメなんだetc.)⑥過去の失敗を蒸し返さない⑦理詰めで相手の逃げ場をなくしてはダメ⑦どうしたらうまくいくかを考えさせてエールを送ることで。

また、叱った後にフォローするタイミングも重要です。相手の行動を見守り、少しでも改善が見られたらタイミングを逃さず「ほめる」ことで自信を持って行動できるようになります。

(株プライムタイム 代表取締役 坂本敦子)

## 豆知識

### ボイラ設備とバルブ(第8回)ボイラ設備とスチームトラップ(スチームトレーシングの課題)

#### ボイラ設備とスチームトラップ

ボイラ設備における安定運転を維持するためには、蒸気システムの管理が不可欠である。その中でも、スチームトラップ(以下、トラップ)は蒸気を漏らさず、蒸気が凝縮することで発生するドレンや、蒸気中に含まれている空気を速やかに排出する機器である。トラップは蒸

気システムを支える重要な役割を担っており、蒸気を供給する主管用途、熱交換器などの装置用途、そしてスチームトレーシングと様々な場面で使用される。

スチームトレーシングとは、輸送管や計装機器に蒸気管を添わせることで内部流体のトラブルを防ぐ方法である。例えば、アスファルトなどは通常の外気温では粘度